

竜舌蘭



学校だより
2月号
喜界町立早町小学校
令和8年2月26日発行

早町小学校 西島常德

「だーじゃーよ？」

2月14日(土)午前中、町中央公民館にて「シマ唄・シマゆみた大会」が開催されました。美しいシマ唄の唄声や楽しいシマゆみた狂言等の発表などシマの伝統文化に直接触れる貴重な時間を過ごすことができました。恥ずかしい話ですが、私は歌唱力もなく、方言も話すことができません。幼いころから祖父や祖母、父や母はお互いに方言で会話をしていたのですが、子供との会話はたいてい標準語でした。だから私は他の人の会話を聞き、内容をあるていど理解できますが、いざ自分が話すとなると思うように言葉が出てこないのです。

私は学生時代に電気工事のアルバイトをしていました。工事現場では設計士、設備工、大工、溶接工などの様々な方々が働いていらっしゃいました。夏休みのアルバイト中、僕が喜界島出身であることを聞きつけた年配の見知らぬ作業員が笑顔で近づいてきて、唐突に「だーじゃーよ？」と問いかけてきました。一瞬でしたが、混乱して頭の中が真っ白になったことを記憶しています。まさか、東京のど真ん中で方言で出身集落を尋ねられるとは思ってもよらなかったのです。ようやく意味を理解し、声を絞り出すように標準語で「上嘉鉄です。」と答えました。相手もまさか標準語で答えが返ってくるとは予想していなかったのか、困った表情になり、その後はギクシャクした会話になってしまいました。あの時、「わの一ハテイトウド。「な一め一じゃーでっか？」と返すことができているら、その後の会話も弾んだかもしれません。(方言の使い方が間違っているかもしれませんが…)

早町小では私が赴任する以前から、子供たちが方言で、朝の校内放送や給食の放送、掃除時間の放送などを行っています。なかには校長室の前を通るたびに「うがみんせーら！」とあいさつしてくれる元気な子供もいます。そんなときは「うがみんせーら」と言って返しています。心が温かくなる瞬間であり、方言を身近な言葉として使っていることにうれしさと頼もしさを感じます。これからも継続して取り組んで、会話までできるといいなあと心ひそかに期待しています。

第71回全国青少年読書感想文全国コンクール表彰式

2月10日(火)に東京で第71回全国青少年読書感想文全国コンクールの表彰式がありました。本校から大山莉瑠さん(小4)が「学校図書館協議会長賞」を受賞し、併せて本校は「サントリー学校賞」を受賞しました。式では秋篠宮皇嗣妃殿下をはじめ、文部科学副大臣、学校図書館協議会長の多くの方々からお祝いのおことばをいただきました。その後の祝賀会の席では莉瑠さんの書いた感想文の本「たった2℃で…」の作者キム・ファン氏ともお会いし、サイン入りの本をいただきました。とてもうれしく、ありがたい一日となりました。

今や人工知能(AI)が加速的に進歩し、自動でしかも瞬時に感想文が作成できる時代へと突入しました。しかし、人間が読書活動を通じて考える心の内面をAIが代替することは難しいことだと思います。本をきっかけとし、時間をかけて作者の思いを読み取り、自身の生活体験と重ね、考え、自身の言葉で表現するという創造的(クリエイティブ)な活動により高い価値があると考えます。読書が日常の生活の一部になるといいですね。



行事予定

日	曜	行事
2	月	PTA朝の登校指導
6	金	お別れ遠足 6年生を送る会
8	日	かがやきの会主催愛校作業
13	金	PTA朝の登校指導
20	金	(祝)春分の日
24	火	第14回卒業式
25	水	修了式 離任式 PTA送別会

シマ唄・三味線の授業

1月28日(水)には、生涯学習課の川畑さおり先生を講師に迎えて「シマ唄・三味線の授業」を実施しました。子供たちは、「喜界やよい島」や「いきゅんにゃかな節」を唄ったり、三味線で演奏したりしました。3・4年生は、「シマ唄・シマゆみた発表会」で発表する演目を聴いていただいてアドバイスをもらっていました。

これからも、総合的な学習の時間や音楽の時間でシマ唄や三味線に親しみながら、喜界島の文化を楽しんでほしいです。



薬物乱用防止教室



2月10日(火)には、奄美市から学校薬剤師の久保氏を招いて、4~6年生を対象とした「薬物乱用防止教室」を実施しました。

子供たちは、たばこやアルコールが健康に及ぼす影響について学習しました。正しい知識を身に付けて、これからも元気な子供たちであってほしいと思います。

サトウキビ伐採・黒糖づくり

2月12日（木）、13日（金）の2日間、例年同様、杉俣さん御夫婦を講師に招いて、6年生が「サトウキビの伐採」と「黒糖づくり」を体験しました。

12日の伐採では、安全な伐採の仕方を学び、みんなで力を合わせて刈り取りました。13日の黒糖づくりでは、はじめに前日に刈り取ったサトウキビを杉俣さんの工場で絞り、その後、学校で搾汁を煮ていきました。子供たちは、それぞれの工程で様々なアドバイスをもらいながら上手に煮詰めていきました。自分たちで作った黒糖ということで、とても美味しかったようです。御指導くださった杉俣さん、御協力くださった保護者の皆さんありがとうございました。



シマ唄・シマゆみた発表会

2月14日（土）には、「シマ唄・シマゆみた発表会」が開催されました。本校からは3・4年生が参加し、「朝花節」と「喜界やよい島」を発表しました。朝の時間や総合的な学習の時間でしっかりと練習してきた子供たちは、大勢の前でも堂々と演奏してくれました。また、当日は個人で参加する子供たちもいて、地域でも喜界島の伝統文化に触れていることが伝わってきました。これからも喜界島の伝統文化を受け継いでいってほしいと思います。



新1年生体験入学・入学説明会

2月17日（火）、「新1年生体験入学・入学説明会」を実施しました。

新1年生体験入学では、現1年生と一緒に折り紙を楽しんだり、校舎内を探検したりしました。最初は緊張した表情の新1年生もいましたが、少しずつ表情も柔らかくなり、楽しい時間を過ごしていました。また、お世話をしていた現1年生が少しお兄ちゃん、お姉ちゃんになったように見えて微笑ましかったです。

入学説明会では、新1年生の保護者を対象に入学に向けた準備や子供との関わり方について、簡単に説明させていただきました。

初めて小学校入学を迎える保護者の皆さんにとっては、心配事や分からないこともあるかと思いますが、入学前に確認したいことがありましたら、お気軽に学校（66-0004）にお問い合わせください。8名の1年生の入学を心からお待ちしています。



サクナー収穫体験



2月18日（水）には、3・4年生がサクナーの収穫を行いました。5月に植え付けたサクナーが大きく育っていて、子供たちも嬉しそうでした。

喜界島薬草農園の濱田さんに収穫の仕方を教わりながら、およそ1時間かけて収穫しました。想像以上にたくさん収穫できて、子供たちも大満足の様子でした。

毎年、御指導いただいている濱田さん、薬草農園の皆さん、本当にありがとうございます。子供たちも喜界島の素晴らしさを実感できたと思います。

乗り入れ授業（6年算数）

2月20日（金）、喜界中学校の出口人先生が6年生の算数科の乗り入れ授業を行ってくださいました。この時期の6年生の算数科の学習は、中学校の数学科の学習と接続する内容になっていて、子供たちも興味津々に授業を受けていました。出口先生、本当にありがとうございました。



【児童の日記】
昨日、出口先生が数学を教えにきてくださいました。話がとてもおもしろかったです。そして、数学の勉強をしました。（中略）
最初は難しそうと思ったけれど、xとyを使った簡単な問題も分かった。でも、xとyを使った問題は難しいと感じていました。中学校の勉強は難しいと感じていました。でも、出口先生が教えてくれたので、少しは理解できました。

